

プログラム

ロータリー情報に因んで

テーマ 老ロータリアンの憂鬱 三田村久治会員



会員として少しばかり長く在籍をさせて貰っている関係から自由解題、創始の精神に歩み寄り、4つのテストを実行する職業奉仕の哲学を實踐してゆく努力を皆さんの異なる職業を通じて異なる職業奉仕活動を実践されることを願うものです。

(1) 中国の台頭が最近のマスコミの話題になっている。中国人の中華意識は小学校でも日本が尖閣島を盗んだと学校で教えているようだ。何も知らない子に教える間違いは怖い。全ての世界の文化文明歴史は中華思想でその中心にありとする。今手元に知れる中国の歴代王朝を列記すれば次のようである。

戦前対日友好の民国政府の首相汪兆銘主席の墓は爆破されたし、その歴史上昔主戦を進めた岳飛將軍の前に坐像する秦檜夫妻の像は檻に囲まれ見物の民衆の唾と恨み事で今日に到るまで糾弾する不寛容の国を忘れてはいけぬ。

(2) 国旗掲揚の問題はクラブで決めた約束です。各職場での掲揚をしますか。我が国の国旗ですから。

(3) ユーロの経済危機と宗教の問題。キリスト教プロテスタントとカソリック教国との関係とロータリアンの問題。かってニースでのRクラブ世界大会での不始末会場風景…今回ECの経済危機問題でギリシャは再びゼネストがあり公務員による政府緊縮政策に反対という、又スペインでは若者就職率50%という、いずれも深刻な欧州経済危機が発生しており他の国からの救済資金に依存しながらの今回の騒ぎは将に国家間の倫理違反であり我が国の影響もいずれ少なくないでしょう。

(4) 米国はその国民が血を流して占領した沖縄に何万人の米国人の若い血の流れた結果の沖縄返還は不思議で今も日米地位協定でアメリカの優位は否めない事実である。

又日本国憲法も戦争の放棄があるが如何なる世界各国も自衛のための戦争を放棄していないし国歌の文句も日本は世界に冠たる平和的な内容である。幾多の国威に関し、アイデンティティにかにあるべきか時代を背負う若人青年の日本人の双肩にあり、固く期待するものである。

(5) 山中博士によるノーベル賞受賞を日本人として胸を張って喜んだのも東の間、iPS虚偽手術事件があった。戦後の時代に育った大学の指導教官や、日教組の下東大の学園闘争を知る中で育ち学内に残った研究委員は果してその課題と研究のテーマに真剣

に望んでいるか甚だ疑問を呈したい。戦後（菊と刀）と題してルースベネダイクトが日本人の生活習慣や宗教文化を分析、特性としてまず恥を知る文化が浸透している、また義理人情が表裏一体となって体内に日常の生活に染み込んでいると当時の日本占領の民政に国民の理解に勤めた。将に恥を知るべきである。

(6) リーマンショック以後のアメリカの金融資本主義政策については、強欲資本主義の自爆、拝金主義の思想を許す社会倫理の欠如を挙げたい。高度成長を目指す時代は終わり、ゼロ成長の時代に入り30年間に及ぶデフレは、今も尚我が国を不況のどん底に陥れている。象徴的なのは、我が国の代表的な半導体軽電氣業界の今日の波紋は誰もが予想しなかった。示唆に富んでいることを。学ぶべきである。

(7) 私たちの職業を考えますときこれを天職と呼びますと全く天から与えられた仕事、職業と思えば有り難く貴重な、世の為人の為にお役に立つ有益な仕事をする事であってVocational ServiceはRの根幹であります。因みに岩波から「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」マックス・ウェーバー著の中に天職倫理について研究書が出てます。

(8) 最後に…積善の家に 余慶あり 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる He Profits Most Who Serves Best 超我の奉仕 Service Above Self 職業宣言1989年「職業の品位を高め天職という思想をうちに秘めロータリー活動を我が勤めと精進すればいつの日か微笑が湧いてくるでしょう。」

11月誕生日お祝い …… 3名

- 草桶 栄治
- 土田 秀明
- 笠原 章



11月結婚記念日お祝い …… 13名

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 織田 桂蔵・美智子 | 佐々木 弘之・尋子 |
| 辻岡 俊三・里枝  | 竹内 紀昭・悦子  |
| 倉橋 孝治・富美代 | 服部 秀一・祐子  |
| 奥村 忠・恭子   | 中村 康孝・洋子  |
| 蔭山 雅一・周子  | 三田村 士郎・郁子 |
| 竹内 正美・祥子  |           |
| 田中 大成・知子  |           |
| 野田 泰弘・佳代子 |           |



ニコニコ箱 …… 47,000円

- |        |        |         |
|--------|--------|---------|
| ○佐々木会長 | ○草桶 栄治 | ○辻岡 俊三  |
| ○河合 敏一 | ○土田 秀明 | ○竹内 紀昭  |
| ○奥村 忠  | ○藤井 洋造 | ○倉橋 孝治  |
| ○中西 真三 | ○白崎 弘康 | ○田中 大成  |
| ○服部 秀一 | ○竹内 正美 | ○三田村 士郎 |



2012-2013 RI テーマ  
奉仕を通じて平和を



創立/1954年(昭和29年)6月30日  
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内  
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp  
例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館  
会長/佐々木忠彦 幹事/河嶋 一 会報委員長/丹羽新吾

2012-2013 第2650地区テーマ  
隔たりをなくそう

第2843回 例会記録 平成24年11月6日(火)

会員総数61名(内出席免除会員8名) 本日出席会員35名  
メイクアップ(前々回) 7名  
出席率(前々回補正) 78.18%  
「君が代」斉唱  
ロータリーソング「我らの生業」

会長挨拶 佐々木会長



明日は「立冬」です。最近温暖化が進み「冬来る」と言えば11月の初めはまだまだ秋の感じですが、しかし日中の陽射しは、幾分弱まり、日暮れが早くなって朝夕には寒気の冷さを感じ始める頃です。季節感がなくなって久しい現代人の暮らしですが、古来より大切にされてきた日本人の自然感はまだこんな言葉に残されているようです。しかし、冬の季節風第1号が吹き出すのもこの頃にあたります。また北国や初冠雪の知らせが届くのもこの頃で時雨の季節でもあります。

先週の10月30日に外務省へ行ってきました。来年2月にネパールを下見の訪問をした時のいざという時のトラブル解決のお願いをさせて頂きました。林会員の外務省の友人の紹介ということでした。3の方が応対していただきました。そのうちの一人は領事局海外邦人安全課の外務事務官という方でした。現地の事情も詳しく教えて頂きました。基本的には外務省のホームページの通りと言うことで、それ以上のことはヒマラヤ保全協会やJICA青年海外協力隊などに問い合わせた方がよいと言われました。

その後、代々木にあるヒマラヤ保全協会にもあちらの様子を尋ねに行きました。事務所は5階建てのマンションで、いかにも解体寸前という風な感じの建物にありました。風呂もなく昭和30年代建築とい

う懐かしい感じでした。その頃のアパートとしては随分しゃれた建物だったと思います。この協会は国際環境NGOでネパール・ヒマラヤにおいて地域住民が主体となって植林活動を行っています。ここは森林の後退が急激に進む地域です。ここは南アジアの水源地でもあり、森林の後退は下流域にも深刻な被害を与えています。1996年から活動を始め、今までに約86万本の松を始めとした色々な樹種の植林を行っています。2014年度には100万本達成を目指しているそうです。植樹計画の流れとしては、事前調査・苗畑建設・苗畑拡充・苗畑維持管理その後植樹という流れになります。何かロータリークラブとして奉仕活動が出来ないか、ということで色んなお話をうかがってきました。一本の苗木の植林は100円で出来るそうです。苗木から現地まで育てています。全国で3つ位の地区を決めて植樹して廻っています。一年間での植樹実施本数は4～5万本ぐらいです。事務局スタッフは日本国内外の総勢でも10人以下だそうです。ジョムソン支援から20年を経っていますが、看板を取り付けるだけではなく、もう一歩進んだ国際奉仕事業や友好関係を築けると良いと思いました。

話は変わりますが、先日上京時に東京駅の改築後の丸の内南口にあるコンコースの3階分の吹き抜けドームを見上げました。見上げての写真撮影の観光客がまだまだ大勢いました。鮮やかな装飾と色彩には目を見張るものがありました。しかしそこには2階床レベルにグリーン防鳥ネットが張ってありました。事情は解かりますが、竣工したての建物が一機に興ざめでした。日本の技術なら超音波を飛ばすとか、荒くて細いワイヤを張り巡る等の手法がとれると思うのですが…。

今日の一言：「恋は人を盲目にするが、結婚は視力を戻してくれる。」  
ゲオルク・リヒテンベルグ